CBT試験ってなに ？
Part 2

～CBT試験とは ?メリット・デメリットとは ？
CBTの魅力に迫ります～

デジタル・ナレッジ

CONTENTS

目次

第一章
国内におけるCBT導入事例

第二章
海外におけるCBT導入事例

第三章
CBT試験が注目される理由と今後の動向

第四章
オンラインCBTソリューションの紹介

Copyright 2023 Digital Knowledge co.,ltd. All rights reserved.

はじめに

オンライン教育の利用が爆発的に増えています。新型コロナウィルスの影響でテレワークが推奨されたことがきっかけとなり、
教育機関における“遠隔教育”や組織（企業・官公庁など）の“社員教育”にオンラインを活用するケースがこれまで以上に増加したことが背景にあります。
しかしいざオンライン教育を利用しようと思っても、システムは数多くあり、機能も様々「どの製品・サービスが自社・自校に合うのかわからない」という声をよく聞きます。そこでデジタル・ナレッジでは、本資料を含むホワイトペーパーの資料にて、オンライン教育の導入を検討されている、もしくはご利用中のシステムの変更を検討されている組織・教育機関の皆さまに向けて、基礎知識や導入のポイントを分かり易く解説いたします。オンライン教育の選定にお役立ていただきたいと思います。

Copyright 2023 Digital Knowledge co.,ltd. All rights reserved.

第一章

国内におけるCBT導入事例

Copyright 2022 Digital Knowledge co.,ltd. All rights reserved.

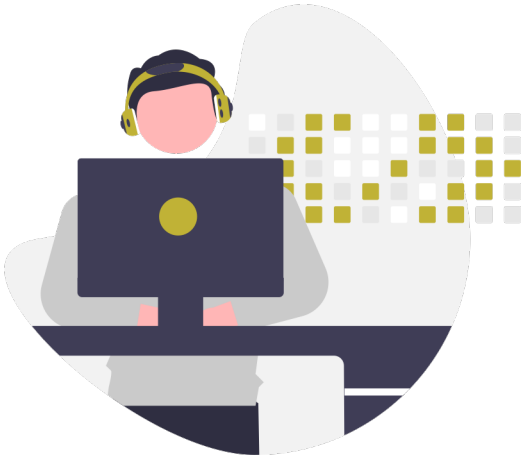
国内におけるCBT導入事例

CBTを導入している資格・検定は数多くありますが、ここでは企業や学校における活用事例も含めてご紹介します。

企業におけるCBT導入事例

企業におけるCBT導入の代表的な例は新卒採用で用いられているCBTです。 「SPI」「玉手箱」「TG-WEB」の3種類があり、言語、非言語、適性検査、性格診断などが提供され三菱商事、伊藤忠商事、トヨタ、富士通など多くの企業で活用されています。

CBTを導入した社内試験の成功事例
特定の製薬会社では、MR向けの社内試験を100%オンライン化し、これにより大幅な時間とコストの削減を実現しました。この取り組みはLMSを活用したCBT試験の導入例であり、企業固有の要件に合ったCBT試験を実行することが可能です。



Copyright 2023 Digital Knowledge co.,ltd. All rights reserved.

CBT導入前

- 紙ベースの社内試験を実施していたが、試験問題の校正・印刷、実施後の集計や分析に多大な費用と時間がかかっていた。
- MR認定センターによって規定されている継続研修の多くを集合教育で行っていたが、その分MRの営業時間が減ることが課題となっていた。

>>>

CBT導入後

- MR向け社内統一試験を100%オンライン化。ペーパーレス化と完全内製化により大幅な時間・コストの削減に成功。
- 研修時間のデータが取れるようになったことでMR認定センターによって研修時間が規定されている継続研修の一部もeラーニングによって実施可能に。

学校におけるCBT導入事例

文部科学省は、小・中・高校の児童生徒を対象としたCBTシステムを開発しています。令和２年度にはプロトタイプとして全国学力・学習状況調査問題などがデジタル化され搭載、これまで延べ約14万人（令和２年度３万人、令和３年度１１万人）の児童生徒が活用しました。 今後はさらなる機能拡充の上、全国の学校での活用や各種学力調査でのCBT活用が見込まれています。

出典：文部科学省『CBTシステム（MEXCBT：メクビット）について』
https://www.mext.go.jp/content/20220111-mxt_syoto01-000013393_2.pdf （2022年1月31日参照）

Copyright 2023 Digital Knowledge co.,ltd. All rights reserved.

学校におけるCBT導入事例としてもう1つ具体的な例をご紹介します。

創価大学通信教育部ではコロナ禍にスクーリング・科目試験が中止に追い込まれたことをきっかけにCBT試験を導入。「本人認証機能付き」CBT試験で、出席管理や不正受講の問題をクリアした高品質なオンライン試験を実現しています。

CBT導入前

- 全国で実施予定だった地方スクーリング、科目試験がコロナ禍で中止を余儀なくされた。
- 目前に迫った夏期スクーリング授業を緊急でオンライン化すると同時に、試験もCBT化したい。

>>>

CBT導入後

- 本人認証付きCBT試験をスピード導入。
- 試験開始前に「顔認証」による本人確認を実施。PCカメラで受講者を撮影し外部のAPIの顔認証システムに送信、登録顔写真との一致率をAIが算出し、クリアしてはじめて試験が受けられる仕組みとなっている。
- CBT試験は選択式や穴埋め式が主流だが、教員から論述形式で行いたいという強い意向があったためLMSのレポート機能をカスタマイズして実現。

LMSを活用した効果的なCBT導入事例です。同大学では、今後もCBT試験を中心とし、経費削減、教員の負担削減につなげていきたいということです。
»詳しくはこちら：https://www.digital-knowledge.co.jp/archives/23994/

Copyright 2023 Digital Knowledge co.,ltd. All rights reserved.

資格・検定におけるCBT導入事例

英検や簿記検定など資格・検定試験を実施している数多くの団体でCBTが採用されています。CBTのみで試験を実施しているところと、筆記試験とCBTを併用して実施している資格・検定があります。

- 実用英語技能検定
- 日本漢字能力検定
- 日商簿記検定
- 秘書検定
- ビジネス実務法務検定試験
- eco検定（環境社会検定試験）
- カラーコーディネーター検定試験
- 世界遺産検定
- ニュース時事能力検定 (N検)
- 経理財務スキル検定(FASS検定)
- マーケティング検定
- インターネット検定 .com Master
- 陸上特殊無線技士
- アマチュア無線技士
- 家電製品資格試験
- リテールマーケティング（販売士）検定試験
- 銀行業務検定
- 日本フードコーディネーター協会
- ITパスポート
- 金融業務能力検定
- ITコーディネータ

ほんの一部のご紹介ですが、こうして見ると実に多くの資格・検定でCBTが活用されているのがわかりますね。

Copyright 2023 Digital Knowledge co.,ltd. All rights reserved.

第二章

海外におけるCBT導入事例

Copyright 2022 Digital Knowledge co.,ltd. All rights reserved.

海外におけるCBT導入事例

海外では中学生や高校生の学力を測る公式テストについても大規模なオンライン化が進んでいます。
その代表的なものがPISA（Programme for International Student Assessment）と呼ばれる国際的な学習到達度調査です。 3年おきに15歳から16歳の生徒を各国で抽出してアセスメントテストが行われています。

従来は筆記型の調査でしたが、2015年からは原則CBTへと移行しました。PISAのCBTでは、選択肢形式問題、プルダウンからの選択形式に加え、キーボードを使った解答入力形式などが取り入れられています。

Copyright 2023 Digital Knowledge co.,ltd. All rights reserved.

また、TIMSS5と呼ばれる国際数学・理科教育動向調査においても、2019 年調査より CBT が一部導入され、2023 年調査では完全移行することが予定されています。
そのほかアメリカの4,8,12年生等を対象とした全米学力調査（National Assessment of Education Progress：NAEP）、フランスの6年生を対象とした学生評価（L‘évaluation des acquis des élèves de sixième）、スウェーデンの３,６,９年生を対象とした義務教育における全国試験（Nationella prov igrundskolan）など、さまざまな学力調査がCBT形式で実施されており、**CBTによる学力調査は国際的な標準**となりつつあります。

出典：アビームコンサルティング株式会社「令和元年度 学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究」
https://www.mext.go.jp/content/20200727-mxt_chousa02-000008941_1.pdf（2022年1月31日参照）

Copyright 2023 Digital Knowledge co.,ltd. All rights reserved.

第三章

CBT試験が注目される理由と今後の動向

Copyright 2022 Digital Knowledge co.,ltd. All rights reserved.

CBT試験が普及した背景にはICT環境の進化があります。 パソコンやタブレット端末が普及し、大容量インターネット環境が整備されたことで、テストをオンライン化する下地が整い、国内でも少しずつCBTの導入が進んでいました。 しかしながら、世間一般にCBTが広まるようになったきっかけは、なんといってもコロナ禍で1つの場所に集まって一斉にペーパーテストを受ける従来の試験の実施が難しくなったことでしょう。

コロナ禍で数々の試験が延期や中止になった理由としては、緊急事態宣言の発令や感染拡大の中で密を避ける目的が第一でしたが、それ以外にも試験会場となる大学や公共施設が閉鎖されて使用できない、という事情もあったようです。 そのような混乱の中、実施可能な新しい試験方法としてCBTによるオンライン試験がクローズアップされ、導入する事業者・企業・学校が増えました。

それでは今後、CBT試験はどのようになっていくのでしょうか。

Copyright 2023 Digital Knowledge co.,ltd. All rights reserved.

文部科学省は2020年5月より「全国的な学力調査のCBT化検討ワーキンググループ」を定期開催しています。CBTによる学力調査が国際標準となりつつある中、後れをとることなく、全国学力・学習状況調査のCBT化に向けた取り組みが急ピッチで進められています。さらに、政府によるペーパーレス化の推進やSDGsをはじめとする環境問題への意識向上などの追い風を受け、従来の紙の筆記試験からCBT試験へ移行する機運はますます高まるでしょう。

もう1つ重要なのは、CBTが「受験者によって出題する問題をアダプティブに変えることができる」点です。 海外ではCBTのメリットを生かし、特別な支援が必要な学生に1人1人に合ったテスト形式が提供されていることは前述した通りですが、従来の「一斉型教育」から「学習の個別最適化」「一人一人に合った学びを」という近年の教育トレンドの中で、今後CBTは大きな存在感を示すものと考えられます。

Copyright 2023 Digital Knowledge co.,ltd. All rights reserved.

筆記試験に代わる新しいテスト形式として注目されるCBT試験。
試験の全行程をコンピュータ上で実施可能なCBTは試験実施者にとっても受験者にとっても多くのメリットがあり、今後は資格・検定団体のみならず、企業や学校でもそれぞれの組織に合ったCBT試験の導入が広がっていくものと考えられます。

CBT試験の効果的な導入をお考えの方、現在の試験方式に課題をお持ちの企業や学校、教育事業者の方は、ぜひお気軽にお問い合わせください。

Copyright 2023 Digital Knowledge co.,ltd. All rights reserved.

第四章
～オンラインCBTソリューション～

Copyright 2022 Digital Knowledge co.,ltd. All rights reserved.

試験問題を紙ベースからインターネットを利用したオンライン試験へ――

オンラインCBTソリューションのご紹介

高い操作性・レスポンス性

インターネット通信頻度を最小限に抑えることで、受験実施時のレスポンス向上を発揮します。

大規模利用への対応が可能

同時受験、数百人から数万人程度まで、大規模なご利用シーンへの対応が可能です。

本人認証「AI顔認証モジュール」との連動

Webカメラやスマートデバイスを用いて撮影された画像の類似度をAIが判定し、不正受験や替え玉受験を防止し本院認証の精度を高めます。

学習結果管理、トレーニングへのシームレスな連携

『KnowledgeDeliver』との連動で、試験実施結果の管理や、試験実施結果に基づく適切なトレーニング提供が可能です。

ECサービスをはじめとるす多彩な拡張オプションサービスの提供

拡張オプションにより、試験にまつわる申込・決済・請求発行や成績表や終了証の提示などオンライン上で行うことが可能です。

オンライン上ですべて完結できるよう、運用負荷低減に資する以下のような特徴を有しております。
事業者様の規模やご予算に応じた拡張対応も可能です。詳細はお問合せください。

Copyright 2023 Digital Knowledge co.,ltd. All rights reserved.

自宅や職場にてオンラインによる試験、学習結果の評価を実施することが可能となり、継続的な学びを実現。

KnowledgeDeliver(LMS)向け
CBTモジュール

紙ベースで行っていた模擬試験や資格試験、昇格試験、定期試験を自宅や職場でオンライン化

×

KnowledgeDeliver(LMS)向け
AI-顔認証モジュール

事前に登録された受講者の顔写真と受験前に撮影した画像の類似度をAIが判定

Copyright 2023 Digital Knowledge co.,ltd. All rights reserved.

オンラインCBTソリューション 提供実績と今後の提供先

大学受験予備校様模試試験システムとしてのご利用	医師国家試験予備校様模試試験システムとしてのご利用	児童向け語学検定システムとしてのご利用

今後、会場に集めて紙ベースでの試験を運営されている以下のようなお客様にご提案を行ってまいります。

・学力テスト、模試試験を運営されている教育企業・教育団体様
・組織内資格試験、昇格試験を運営されている企業・団体様
・定期試験・単位認定試験等を実施する学校法人様

Copyright 2023 Digital Knowledge co.,ltd. All rights reserved.

皆さまからのご連絡をお待ちしております

メールで質問

infoadmin@d-k.jp

電話で質問

導入のご相談 050-3628-9240

その他 03-5846-2131

サイトを見る

デジタル・ナレッジ

検索

デジタル・ナレッジ

Copyright 2023 Digital Knowledge co.,ltd. All rights reserved.